

館山・南房総

(千葉県館山市、南房総市)

注目ポイント！

NPO連携による「五感で楽しむ学びの旅」・観光まちづくりを推進。
道の駅ネットワークによる広域周遊観光の推進。



**教育旅行の受入れが3校(H15)から40校(H18)に！
7つの道の駅に来訪者の半数(約250万人)を集客！**



道の駅「とみうら枇杷倶楽部」

コラム

バブル経済の破綻で混沌とした時期に加藤文男氏(観光カリスマ)が中心となり設立された道の駅「とみうら枇杷倶楽部」は、特産の枇杷を活用した商品や、点在する観光資源を束ね観光会社に対し集客配分、精算、クレーム処理等を一括して行う「一括受発注システム」を開発。南房総のランドオペレーター機能を果たしている。また、近年では5つのNPOがそれぞれの得意分野を活かしつつ連携し、無人島体験プログラムをはじめ多くの体験観光を創出し、急激に教育旅行が増加している。

これまでの経緯

- | | |
|-------------|--|
| 平成9年(1997) | 「沖ノ島サンゴを見守る会」(館山市)が結成され、NPO連携による観光振興の萌芽。 |
| 平成13年(2001) | 地域連携型の観光ポータルサイト「南房総いいとこどり」を開設する。 |
| 平成14年(2002) | 食用花を商品化し観光客への提供を開始する。 |
| 平成15年(2003) | 館山市において体験観光50選を創設する。 |
| 平成16年(2004) | NPOによる自然・歴史ガイド事業が本格稼動する。
道の駅が連携しスタンプラリーを開始。 |
| 平成17年(2005) | NPO連携による地域資源の発掘・広域周遊ルート等調査事業を実施する。
フラワーツーリズムの高度化に向けた観光商品づくりに着手する。
千倉地域の宿泊施設経営者が連携し、「花の宿宣言」を展開する。 |
| 平成18年(2006) | 南房総市が合併により誕生。 |

主な取り組み

NPO連携による体験観光の創出

まちづくりNPO(海辺の自然体験・歴史ガイド)や農漁業者等の連携により、地域資源を活用した体験プログラム(ガイドビジネス)を創出。高齢者・Iターン者等の参画による観光まちづくりと、年間5,000人に及ぶ教育旅行の誘致や、宿泊施設等との連携による体験観光で集客を促進。



NPO / 海辺の自然体験

フラワーツーリズムの高度化

南房総といえば早春の花のイメージが定着しているが、季節の偏りや集客数に比して地域への経済効果が必ずしも大きくないことから、花生産者や宿泊事業者等が連携し、フラワーアレンジメントや花をテーマにした料理の開発等、新たな観光商品づくりを推進。



花を活用した旅行商品の検討

花景観・食によるまちづくり

千倉町商工会では、日本で唯一の料理の祖神を祀る「高家(たかべ)神社」にちなみ、古代米の栽培や古式料理の再現に取り組んでいる。また、鯨料理に代表される地元食材を用いた産業間連携による「食によるまちづくり」を実践。

近年では、露地花の産地としての知名度を活かし、食用花の栽培や花の料理の提供を実施。



花のちらし寿司

道の駅ネットワークの形成

南房総を訪れる人の8割が現地で情報を入手し、立ち寄り先を決定しようとしていることから、南房総地域の7つの「道の駅」が連携、各駅にライブカメラを設置し、共通ホームページによる旬でレアな情報を提供するほか、スタンプラリー等様々な取り組みを展開。来訪者の半数が道の駅を訪問するまでになり、各駅が周遊観光の拠点として機能している。



道の駅「ローズマリー公園」

問い合わせ先

館山市観光立市推進課

Tel : 0470 - 22 - 3346 <http://www.city.tateyama.chiba.jp>

南房総市交流事業課

Tel : 0470 - 33 - 1091 <http://www.city.minamiboso.chiba.jp>